

令和3年度  
校務改善の取組

---

青梅市立第六小学校



# 校務改善の三つの柱

1 スクールサポートスタッフの活用

2 副校長補佐の活用

3 事務室の積極的関与





# スクールサポートスタッフの活用



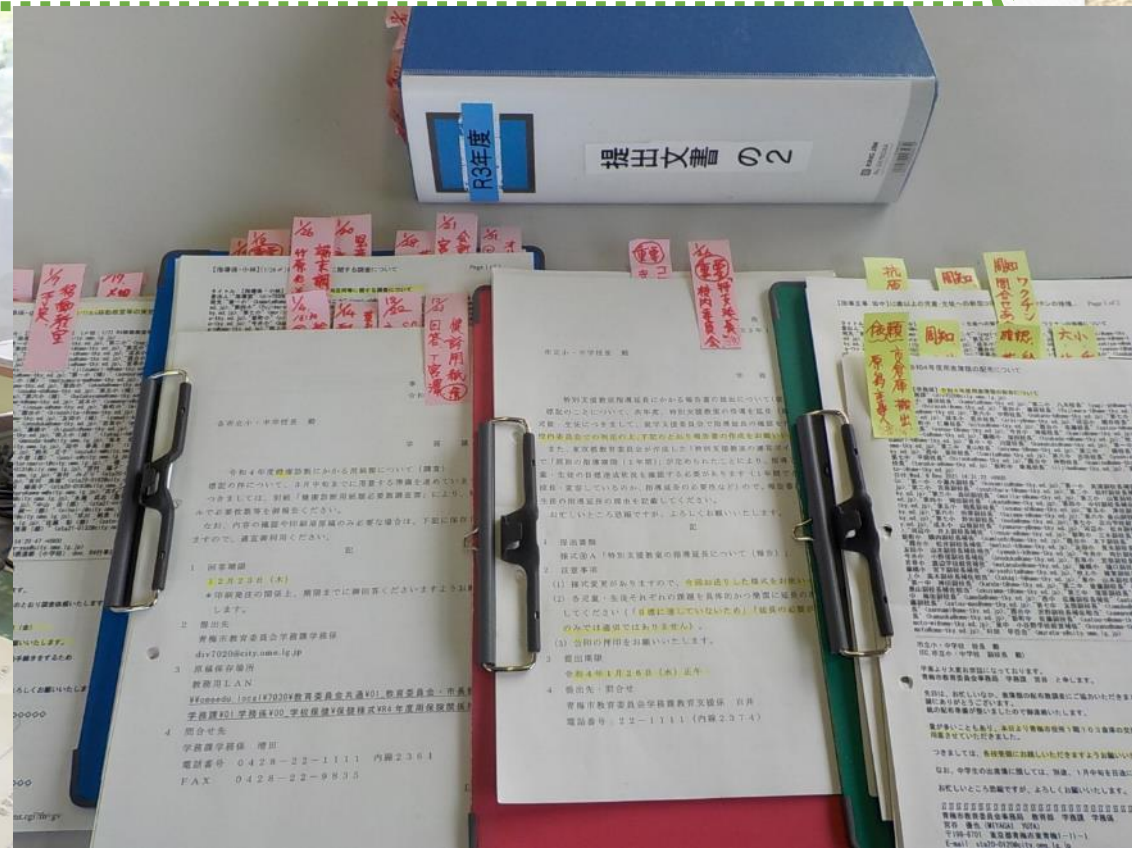
確認



作業依頼書



# 副校長補佐の活用 (副校長補佐による副校長の仕事分担)





# 事務室の関与





# 副校長によるOJT





# 副校長による校内研究のサポート

個別最適な学び



協働的な学び





# ICT通信

## ICT通信

第20号



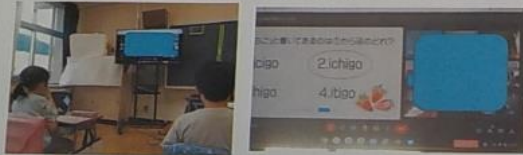
青梅市立第六小学校研究部  
発行者 研究部 竹原弘樹  
発行日 令和3年9月10日(金)

### オンライン授業への準備、進行中です

先週は、5・6年生が先行してオンライン授業を試行しました。続いて今週は、3・4年生がオンライン授業を試行しています。

3年生は9/8(水)に、4年生は9/7(火)に、ローマ字の学習をオンラインで試行しました。画面共有を使って表示したローマ字を読む活動や、「ローマ字ビンゴ」の活動を行いました。

参加予定の児童は全員参加することができました。「途中で充電が無くなった。」「誤って音量をゼロにしていた。」などのトラブルはありましたが、すくに対応し解決することができました。



また、学校内で2年生はオンラインで注文を届けるという活動を行いました。「DAIROKU eats」と称したこの活動を通して、google meet の使い方を感覚的に学び、オンライン授業に慣れさせています。

→遠くの教室から注文したものを、教室にいる友達の手伝いで届けてもらうという活動です。



今後の課題としては、以下の二点が考えられます。

- ①各家庭の回線速度によって通信が不安定な場合があることを考慮した授業をする必要がある。
- ②授業改善を進めて、オンラインでも分かりやすく深い学びのある学習を作り出す必要がある。

①については、回線に大きな負荷がかからない活動を中心にしていくことが解決策となります。例えば、「見せたい動画を、画面共有で全員に視聴させる」「全員で同時にカメラを on にする」といった活動は回線に負荷がかかるため、避けていきたいと思います。

②については、校内研究や、毎月の「ミニ研修」を通して学び合い、よりよい授業ができるようにしていきたいと思います。

万が一の事態に備え、各学年が着々と準備を進めることができています。

## ICT通信

第19号



青梅市立第六小学校研究部  
発行者 研究部 竹原弘樹  
発行日 令和3年9月8日(水)

### オンライン授業を行いました

この度の午前授業措置を受け、今後の学習保障のためにオンライン授業の練習を行いました。実施学年は、5・6年生です。それぞれ、算数の復習を行いました。

5年生は、黒板をカメラで映し出した授業を行いました。写真のような大ききで書くことで、子供たちはきちんと読むことができたそうです。6年生は、画面共有の機能を使って資料を映し出しました。一人一人に呼びかけながら学習を進めました。

カメラとマイクをon、offにする操作や、「挙手」の操作など、子供たちが操作する必要がある場面も多く出てきます。学校にいる時間に一度練習を行うことが必要です。また、回線が不安定な家庭や、操作が分からない児童に対して、電話でサポートできる体制があると安心です。また、今回は学童に通っている児童については、教室に戻して参加させることにしました。

今後、1~4年生も少しずつ練習を進めていくことになると思います。ICT担当・ICTサポーターが補助に入ります。全員で力を合わせ、子供たちの学習を保障していければと思います。よろしくお願いたします。



5年生は学童の児童も参加して、

6年生は、画面共有で映し出した図形から、線対称のものを選ぶ学習をしました。



# 教員の校務への意識を高める MY定時退勤日の設定 と学習支援員配置

各自で名札を  
掲示

	月	火	水	木	金	土
1 時間目	/	1,2年 フル	2年 国語	1年 国語	/	/
2 時間目	/	1年 算数	2年 生活	2年 算数	2年 算数	/
3 時間目	/	1年 図工	2年 国語	1,2年 フル	2年 図工	/
4 時間目	/		1年 道徳			
5 時間目	/	/	/	/	2年 国語	/
6 時間目	/	/	/	/	/	/

ボードで管理



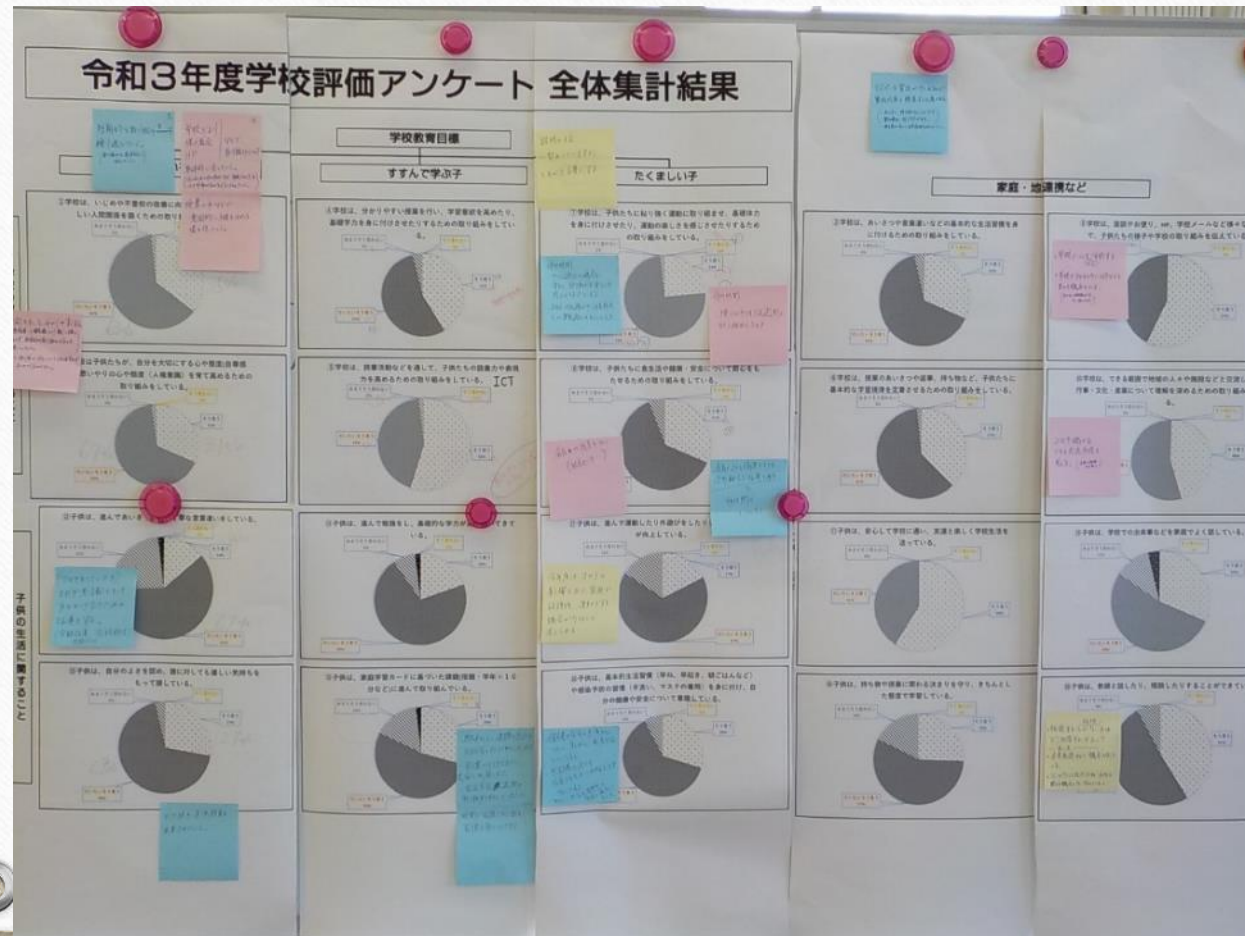
教職員の校務への意識を高められた！

教職員  
管理職  
双方向へ





# 学校経営方針の具現化に向けてPDCA



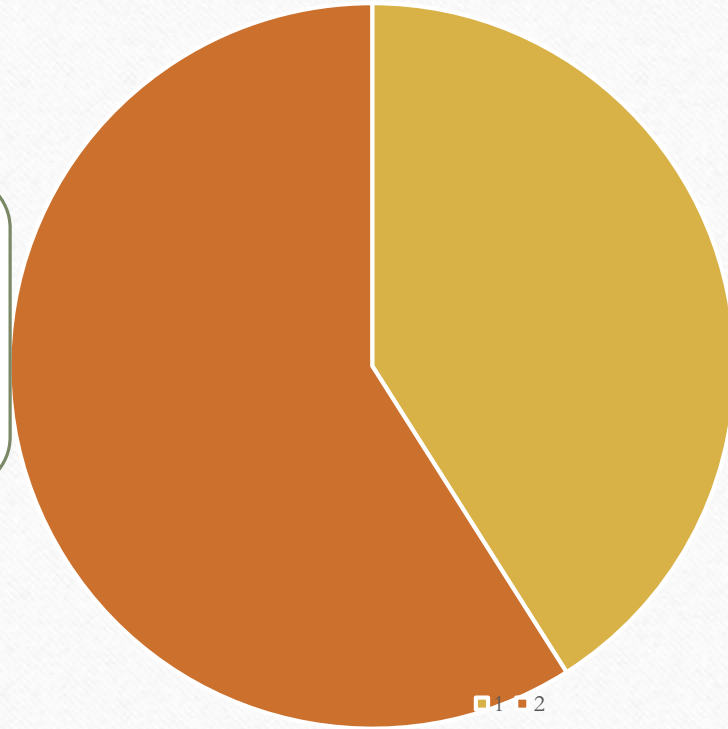
学校評価  
アンケート  
↓  
付箋は改善具体策



# 教育的効果

⑪子どもは安心して学校に通い、友達と  
楽しく学校生活をおくっている。

そう思う  
59%



だいたいそう思う  
41%



## 校務改善の取組のまとめ

---

- 未来を創る子供たちのために使う時間を生み出すため今後も校務改善に取り組んでまいります。